



アレルギー専門の当院での花粉症診療のご案内

2024年1月初旬ごろから、目のかゆみ、鼻水、くしゃみなど花粉の症状が既にでていらっしゃる方がいらっしゃいます。2024年1月18日の日本気象協会の花粉飛散予測(第3報)では、スギ花粉が**本格的に飛散開始する時期**は、関東では**2月上旬**、関西では**2月中旬**、例年と比べますと、少し早く始まり、スギのピークは2月下旬から3月下旬、ヒノキは3月中旬から4月中旬の予定です。また、スギ・ヒノキ花粉の飛散量は過去10年間に比べると、**例年並みか例年よりやや多い**という予想です。

最近では、**2~3歳の子ども**でも、目のかゆみなど花粉症状がでる事があります。症状が悪化する前に、花粉対策をするようにお勧めします。花粉の症状に心当たりある方など、**アレルギー専門の当院**にて、内服、点眼・点鼻、ソレア注射薬などの**花粉症の専門診療**を行っておりますので、ご利用くださいませ。

※ オンライン診療も行っております。詳細はホームページのオンライン診療のご案内をご参照下さい。

※ より専門的な内容や診療に関しては、アレルギー専門の医師の外来(専門外来)をご利用ください。

< 西新宿院のご予約は[こちら](#) >



2024年 各地域の花粉飛散傾向

地方	例年比	前シーズン比	2023年 夏の気象(6~8月)		
			気温	降水量	日照時数
北海道	非常に多い 230%	非常に多い 630%	かなり高い	平年並	多い
東北	やや多い 140%	多い 150%	かなり高い	少ない	かなり多い
関東甲信	並 100%	少ない 50%	かなり高い	平年並	かなり多い
北陸	やや多い 140%	少ない 60%	かなり高い	平年並	かなり多い
東海	やや多い 120%	並 90%	かなり高い	多い	かなり多い
近畿	やや多い 130%	やや少ない 70%	かなり高い	多い	多い
中国	やや多い 120%	少ない 60%	かなり高い	平年並	平年並
四国	並 100%	少ない 60%	高い	多い	平年並
九州	やや多い 120%	やや少ない 70%	かなり高い	平年並	平年並

2024年1月18日発表 日本気象協会 tenki.jp

<日本気象協会 HP は[こちら](#)>

【 花粉症 の Q&A 】



Q：花粉症の薬は、いつ頃から使用開始したらよいでしょうか？

A：遅くても、症状が悪化する前から開始**しましょう**

症状がひどくなってからの内服でも、ある程度の効果はありますが、鼻水やくしゃみ、鼻づまり、目のかゆみがひどくなる前に、**早めに、我慢せずに、花粉症薬**を使用しましょう。個人差もありますが、本格的な飛散の開始日の数日前からの内服開始が推奨されております。

Q：花粉症は、何科を受診するのがよいでしょうか？

A：最も効率がよいのは、アレルギー専門科**です**

花粉症は、鼻の症状、目の症状、皮膚の症状がでます。症状によって、耳鼻科に行き、眼科に行き、皮膚科に行く方もいらっしゃいますが、当院は、**アレルギー専門の医師**が、鼻の症状、目の症状、皮膚の症状など花粉症のほぼ全ての症状に対応し、適切な内服薬、点眼薬、点鼻薬、外用剤などを処方しますので、複数の医院を受診する**手間とコスト**が省けます。当院では、市販薬と同等の薬や市販されていない薬を含め、**あらゆる花粉症の治療薬を処方**できます。

※ 当院は日本アレルギー学会に沿った診療が主です。民間療法などは行っておりません。

Q：妊婦ですが、安全性が高い内服薬はありますか？

A：はい、あります

海外の治験などで実証されているデータがございます。

妊娠中や授乳中でも比較的安全に使用できる薬もありますので診療時にご相談ください。



Q：花粉症の漢方薬はありますか？

A：はい、あります

花粉症に効く漢方薬がございます。抗ヒスタミン薬による眠気などの副作用が辛い方や漢方が体に合っている方などにはお勧めです。ご希望の方は診療時にご相談ください。



Q：大人ですが、花粉症を診てもらえますか？

A：はい、診療しております

アレルギー専門の診療所として、**子ども**だけではなく、**大人の方**の花粉症や喘息、アトピーの方の診察、検査、治療も行っております。**ご家族で受診**することもできます。**アレルギー検査**や**呼吸機能検査**等も行うことができますので、ご遠慮なく受付または医師へご相談くださいませ。

Q：ソレア皮下注射という治療薬は使用できますか？

A：はい、できます。(12歳以上の方が対象です)

2020年より、重症のスギ花粉症の方**(12歳以上)**に対して、2月～5月に抗IgE抗体オマリズマブ(ソレア®)を皮下注射する治療が**保険適用(医療証・公費適応も含む)**となりました。抗ヒスタミン薬内服で1週間以上治療しても症状が強くコントロールが不良な方(例えば1日中鼻水がでる、完全に鼻が詰まっている等)で、血液検査にて**スギ花粉がクラス3以上・総IgE濃度30～1500IU/ml**の方が対象です。**適応年齢は12歳以上**で、血液中の総IgE値と体重を元に投与量を計算し、**注射間隔は4週間(又は2週間)**ごとに、**1～4本**皮下注射を行います。ソレアは薬価が高く適正使用が必要な薬で、当院ではその都度発注している薬となりますので、ご希望の方は、アレルギー専門外来にて事前に受診・ご相談をお願いいたします。

※来院当日での注射は受付けておりませんのであらかじめご了承ください。

※適用基準に沿った方が対象となりますので、症状や検査によっては適応外となる場合もあります。

※医療費など詳細に関しましては、ノバルティス社のホームページをご参照をお願いいたします。

<https://www.okusuri.novartis.co.jp/xolair/pollinosis>

Q：舌下免疫療法をしたいのですが、できますか？

A：はい、できます。(ただし、5月中旬以降からです)

当院にて、**子どもから大人の方まで**、多くの方が治療しております。スギ花粉の舌下免疫療法の開始時期は、スギ花粉飛散期を避けるため、スギ花粉の飛散が終了する**5月中旬以降から開始**ができます。舌下免疫療法(スギとダニ)は、**5歳前後～大人の方**が**保険適用**にて治療できます。

舌下免疫療法は、100%効果があるという夢の治療法ではありませんが、7～8割の方で効果があり、スギ花粉症やダニアレルギーの**根本的な治療(=体質改善)**が期待できますので、**アレルギー症状でお悩みの方にはお勧めの治療法**です。ご遠慮なく、**アレルギー専門の医師へご相談**ください。

適切なアドバイスと治療法のご説明をいたします。



< 補足説明 >

- より専門的な内容や説明をご希望の方は、アレルギー専門の医師の外来をご利用ください。
- 舌下免疫療法も積極的に行なっておりますので、ご遠慮なくご相談ください。
- 他院にてアレルギーに関してご受診されていた方は、過去のアレルギー検査結果や、処方薬(お薬手帳)などがございましたら、ご持参くださいますようお願いいたします。

